

新会社設立 車両の安全運転を支援

3年以内に顧客5000台

オリコンサル

オリエンタルコンサルタンツは、同社が100%出資する新会社「トータルフリートサービス」を設立したと発表した。車両の安全運転を支援す

展途上国など海外への展開も図る方針。

元管理。蓄積した映像

同社が車両に関するあらゆる業務を受注する「車両管理BPOサービス」

対象に3つのサービスをパッケージとして展開することや地域貢献もにらみ、国四〇〇・二〇〇三

— 1 —

A black and white photograph showing three men in dark suits and ties. The man on the left is slightly taller and has his right hand extended for a handshake. The man in the center is shorter and is also reaching out with his right hand. The man on the right is of average height and is also reaching out with his right hand. They appear to be in a formal setting, possibly a press conference or business meeting.

新会社設立で握手する3者（左から
野崎社長、大西社長、美濃部社長）

る車鉄（シヤーロツ）主力に据え置き事業を展開。3年内に500台、約2億円規模の受注獲得をめざすとともに、発

マンの10人に7人が車両事故を起こすという背景から、設立した新会社では企業や団体が保有する車両に対する交通安全のトータルマネジメントを推進。

る。既に同サービスは1月からサービスを開始しており、大手外資系製薬会社と契約し37台がサービスを利用。過失事故発生件数は導入前の約5分の1にあたる9件まで減少しているという。車録のサービスコストは1台あたり月額3000円程度で、次に契約に向け、現在、数社が

と車鍵を収集した上で、イブレコーダーを活用して地域の事故危険箇所を抽出し、事故対策の検討をしやすくする行政向けサービス「Dr.ワットソン」を開発。同社を中心とした、オリエンタルコンサルタントとリサーチアンドソリューション（美濃部直樹社長）が連携し、サービス拡大をめざす。

み 国内のサービスモ
デルを構築すると話し
た。また、トータルフリーダム
トサービスの大西康弘社長も「3年以内に500
台の顧客を獲得した。
い。車録だけで約2億円
の受注獲得をめざした
いと意気込みを述べた。
立。社員数は7人。
新会社は4月1日に設立

導入検討に向けたテスト運用を、北九州市でも公用車1台を使用し、データの活用可能性を実験していく。

オリエンタルコンサルタントの野崎秀則社長は、「起業家精神を持つ人材の育成とケーラー連携によるサービスの総合化」が新会社設立の目的